

役員会報告

1. 昭和62年度第1回理事会（「細氷」33号 147ページに報告済）

2. 第3回 昭和62年度日本気象学会秋季大会準備委員会（「細氷」33号 148ページに報告済）

3. 第1回 昭和62年度日本気象学会秋季大会実行委員会（62年7月20日、於札幌管区气象台）

出席者：秋山、伝法、島津、菊地、花房、松村、巽、遠藤、播磨屋、田中、山岸、

谷口、上田（博）、上田（豊）、川野

秋季大会の実行のため、18名から成る実行委員会を構成し、引き続き準備を進めることにした。

(1) ポスターセッションに対して本部から補助があることが報告された。

(2) シンポジウムを行なう第1会場の会場担当がシンポジウムの司会者になっているので、第1会場担当を谷口 恭、第2会場担当を播磨屋 敏生に変更した。

(3) シンポジウムの形式について以下のように審議された。

ア．表題をもう少し短くすることにした。

イ．臨時総会の時間を短くして、シンポジウムの時間を長くしてもらうよう本部理事会に提案することにした。

ウ．最後に総合討論を30分間設けることにした。

エ．記録係として、上田 博、若原 勝二両氏にお願いすることにした。

(4) ポスターセッションの題数は20題を限度としてもらうよう本部講演企画担当者に申し入れるとともに、会場準備のため発表プログラムのコピーを送ってもらうことにした。

(5) 懇親会の食事内容、会場への移動方法について打合わせた。

(6) 奨励金候補者として、釧路の会員を推薦する予定であることが報告された。

(7) 全国理事会に支部から支部長と理事1名の出席を予定しているが、さらに調整することになった。

(8) 会場で支部機関誌を販売し、夏季大学テキストや北海道関係の図書を展示することにした。

(9) 大会予算案が説明され、補助金はさらに交渉中であると報告があった。

(10) 今後の準備日程を打合わせ、第2回の実行委員会を9月16日に行なうことにした。

4. 第2回 昭和62年度日本気象学会秋季大会実行委員会（62年9月16日、於北大環境科学研究科）

出席者：秋山、伝法、菊地、花房、松村、巽、遠藤、播磨屋、桜井、上田（博）、

谷口、上田（豊）、川野、山岸、田中

(1) 会場内の機器の配置、受付手順などについて詳細に打合わせ、作業マニュアルを作成した。

(2) 大会当日、各委員と手伝いはリボンと名札を着用することにした。

(3) 懇親会の会場へ、行きはバス4台、帰りはバス3台を手配し、各車両に委員が乗り、案内をすることにした。

(4) 全国理事会の懇親会に支部から実行委員10名が出席することになった。

(5) 10月末～11月上旬に決算報告のための実行委員会を開き、実行委員会を解散することにした。

5. 昭和62年度第2回理事会 (62年11月16日、於札幌管区气象台)

出席者：秋山、伝法、菊地、花房、松村、遠藤、桜井、
谷口、上田(博)、上田(豊)、川野

(1) 秋季大会について以下のように報告された。

- ア. 大会、全国理事会などの実施状況が谷口幹事長から報告された。
- イ. 決算について上田(豊)幹事から説明され、桜井会計監査から監査報告があった。
- ウ. シンポジウムの記事を「天気」に投稿することにした。

(2) 昭和62年度の事業中間報告がなされ、以下のことが決まった。

- ア. 今年は秋季大会があったので、第2回の支部研究発表会を取りやめる。
- イ. 夏季大学に他支部から講師をまねくことを来年度以降検討する。
- ウ. 「細氷」は30周年記念号として増頁した。次号は秋季大会関係の記事を載せる。

(3) 菊地理事から全国理事会の報告があった。

6. 第3回 昭和62年度日本気象学会秋季大会実行委員会(62年11月16日、於センチュリーローヤルホテル)

出席者：秋山、伝法、菊地、花房、松村、遠藤、桜井、巽、播磨屋、山岸、若林、田中、
谷口、上田(博)、上田(豊)、川野、

(1) 秋季大会の実施状況が報告された。

(2) 秋季大会実行委員会を解散した。

7. 昭和62年度第3回理事会 (62年3月3日、於札幌管区气象台)

出席者：秋山、菊地、斎藤、伝法、花房、松村、遠藤、桜井、
谷口、上田(博)、上田(豊)、川野

(1) 報告事項

ア. 遠藤理事から、3月16日に特別講演(講師：米国ユタ大、福田 矩彦教授)が北大低温研で行なわれる予定で、雪氷学会北海道支部と共同で開催する方向で進めていると報告があった。

イ. 会計中間報告が上田(豊)幹事から説明され、桜井会計監査から監査報告があった。

(2) 審議事項

ア. 来年度に支部役員選挙があるので、選挙日程が決められ、事務局で選挙事務の準備を進めることになった。

イ. 夏季大学は来年4月中に講師を決めるよう努力する。科学館からテーマとして台風、梅雨などが提案されており、担当理事がさらに調整することになった。

ウ. 来年度の地方講演会の候補地として数ヶ所あげられ、担当理事に一任することになった。

エ. 次号の「細氷」に「秋季大会をふり返って」という記事を書けることにした。「写真訪問」には函館の高風丸、苫小牧測候所の新庁舎などを載せる予定にした。

オ. 会員を増やすため、会員のいない官署に案内を出すことにした。

8. 昭和63年度第1回理事会 (63年6月3日、於札幌管区气象台)

出席者：秋山、伝法、菊地(勝)、花房、菊地(弘)、遠藤、桜井、
谷口、上田、生本、川野、児玉

- (1) 第16期役員選挙の開票結果が谷口幹事長より報告された。
- (2) 理事の互選により、秋山理事が支部長に、また、花房理事、菊地（勝）理事、菊地（弘）理事、遠藤理事が常任理事に選ばれた。
- (3) 新支部長のあいさつの後、支部長から幹事として、上田、生本、川野、児玉の4名が指名された。
- (4) 理事・幹事の業務分担が次のように決定した。
 理事 企画担当：伝法理事、菊地（勝）理事
 講演担当：花房理事
 細氷担当：菊地（弘）理事
 夏季大学担当：遠藤理事
 幹事 総括・企画：上田幹事長
 庶務・会計：生本、川野幹事
 細氷編集：児玉幹事
- (5) 昭和62年度事業報告、会計報告、会計監査報告が、谷口前幹事長、生本幹事、桜井会計監査からなされた。
- (6) 昭和63年度事業計画案が審議され、以下のことが決まった。
 ア．6月14日に支部総会と63年度第1回支部研究発表会を行なう。第2回支部研究発表会は11月に行なう。
 イ．夏季大学を7月27・28日、札幌市青少年科学館で行なう。テーマは「大気の擾乱」とする。講師は足立 崇、上田 博、花房 龍男の3名に依頼しており、気象衛星「G O E S」の動画を上映する。
 ウ．地方講演会は10月19日函館市で開催し、テーマは「渡島半島の風」とする。講師は4名を予定している。引き続き担当理事が準備を進める。
 エ．「細氷」は昨年の秋季大会の記事を掲載する。「会員寄稿」は3題、「写真訪問」には高風丸、札幌レーダー、苫小牧測候所を載せる。発行は7月下旬とし、夏季大学に間に合わせる。
- (7) 昭和63年度の予算案が生本幹事より説明され、承認された。
- (8) 支部総会次第と役割分担を決めた。

（文責：谷口）